

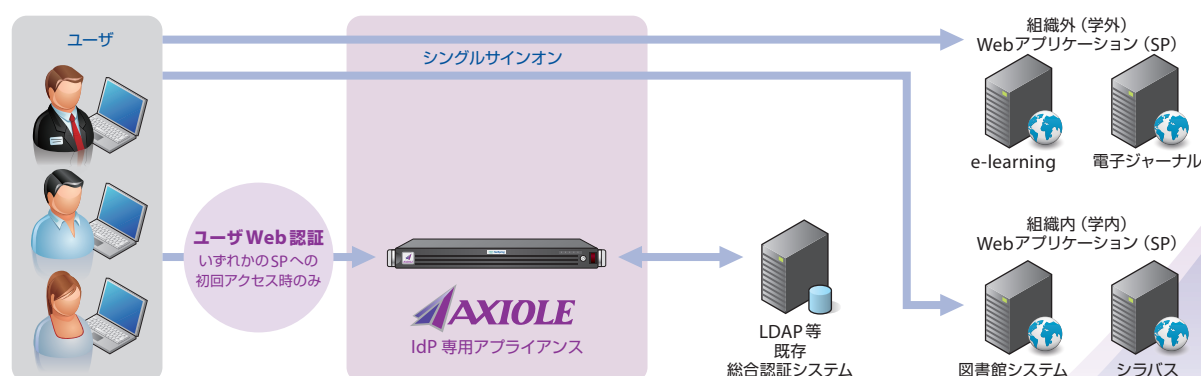


多要素認証機能 (OTP 他) 実装

学内認証基盤に「AXIOLE」を使えば 学術認証フェデレーションへ スピーディに参加可能

IdP V5 対応

Nutanix 版リリース



学術認証フェデレーションを 構築済み専用アプライアンスで提供



LDAPベースの認証アプライアンスサーバAXIOLEの「AXIOLE IdP 専用アプライアンス」を導入することで、Shibboleth IdPを構築済みの機能として手軽に導入できます。全国の大学・高専等と国立情報学研究所が連携して運用する「学術認証フェデレーション (学認: GakuNin)」の相互認証連携システムであるShibboleth IdPをオールインワンのアプライアンス形態で導入でき、すぐにGakuNinに参加可能です。

学認 GakuNin とは

学術認証フェデレーションとは、学術e-リソースを利用する大学、学術e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体です。各機関はフェデレーションが定めたポリシーに基づき、相互に認証連携を行ないます。認証連携により学内外のシステムへのシングルサインオンを実現、電子ジャーナルへのアクセスや他大学でのネットワーク利用を可能にします。

導入、設定が難しいオープンソースの力を 手軽に活用できる魅力

Shibbolethシリーズは、教育機関向けに開発されているオープンソースミドルウェアで、シングルサインオンや属性交換、アクセス制限などを可能にするシステムです。無償で利用でき、ユーザーにより進化を続けるオープンソースという形態は、学術機関が利用するシステムとして適していますが、パッケージソフトウェアに比べて導入や管理の負荷が大きいという課題も持ち合わせています。「AXIOLE IdP 専用アプライアンス」はそうした導入・運用の負荷を大きく削減し、手軽に標準的な認証環境を構築できます。

AXIOLE IdP 専用アプライアンスは、AXIOLEのLDAP機能を利用するのではなく、既存のLDAP等の認証基盤に外付けでIdP機能を追加可能な専用アプライアンスです。IdPの設定および連携の設定を行うだけで、Shibboleth IdP機能を簡単にアドオン可能です。現行のシステムはそのまま、短期間でのGakuNin参加を実現します。



Price

AXIOLE IdP 専用アプライアンス (標準販売価格)

お問い合わせください

仮想版 (VMware・Nutanix)
クラウド版 (AWS・Azure)

提供中